### 6 インストール説明書

### 6.1 概要

本マニュアルは、「受発注に伴う技術情報交換システム(以降 SWG72 と略す)」をイン ストール及び設定するための手順を示すものである。

以下に示すものについて説明する。

名称	動作OS	他のソフトウェア
SWG72 サーバ	VineLinux1.1CR	
SWG72 発注者側管理	MS	MS Access97
者クライアント	WindowsNT4.0(SP5)	
SWG72 発注者側クラ	MS	MS Internet Explorer 5.X
イアント	WindowsNT4.0(SP5)	
SWG72 受注者側クラ	MS	MS Internet Explorer 5.X
イアント	WindowsNT4.0(SP5)	-

表 6.1-1 本マニュアルで説明する項目

6.2 受発注に伴う技術情報交換システムサーバに関する説明

6.2.1 適用機種

本システムは、PC-AT 互換機 (DOS/V) 上で動作する。

6.2.2 適用 OS

本システムは、VineLinux1.1CR 上で動作する。

6.2.3 記録媒体

本システムの動作に必要な機能一式は、以下に示す記録媒体に格納される。

(1)「受発注に伴う技術情報交換システム(SWG72)」 CD - R (1 枚)

6.2.4 前提プログラム

本システムは、以下に示す機能上に構築されている。全てオープンソースとして公開されている。上記に示した記録媒体に動作するイメージとして格納されている。(但し「jperl5.004\_04-980303」のみ OS に付属している。)

種別	名称
DBMS	PostgreSQL 6.5.3
Web サーバ	Apache 1.3.9
Web サーバ拡張	mod_perl 1.21
Web サーバ拡張	ApacheDBI 0.82
DBインターフェース	DBI 1.13
DB ドライバ	DBD-Pg 0.92
バッチプログラム用言語	jperl5.004_04-980303 ( OS に付属 )

表 6.2.4-1 前提プログラム一覧

6 . 2 . 5 インストール及び設定手順概要 SWG72 サーバのインストール及び設定は以下の手順でおこなう。

- 1. OS (VineLinux)のインストール及びネットワークの設定
- 2. OS (VineLinux) 及びネットワークの正常動作の確認
- 3. SWG72 サーバソフトウェアのインストール及び設定
- 4. SWG72 サーバソフトウェアの正常動作の確認

以下に各手順の詳細を示す。

6.2.6 OS (VineLinux)のインストール及びネットワークの設定

VineLinux のインストールは、VineLinux のパッケージに付属する「ユーザーガイド」 に基づきおこなう。

以下に示す点を除き、インストーラの示すデフォルトを選択するかまたは、自分の環境 に合わせて選択すればよい。

以下に OS インストール時に標準構成と変える点について述べる。

パーティションの設定

ディスクの設定には「Disk Druid」を使用し、パーティション設定を以下のようにおこ なう。swg72 サーバソフトウェア環境は全て「/home」上に導入されえるので、「/(ル ート)」とはパーティションを分け、十分な容量を確保するようにする。

表 6.2.6-1 パーティション設定

ドライブ	マウントポイント	サイズ	種類
hda (IDE)		127M	Linux swap
hda (IDE)	/	残り全て	Linux native
sda (SCSI)	/home	全て	Linux native

インストールするコンポーネント

SWG72 サーバのインストール及び動作に必要な以下のものだけ導入するようにする。

表 6.2.6-2 インストールするコンポーネント

コンポーネント名
LAN 接続
開発ツール

上記のコンポーネントしか選択しないことにより「解消されていない依存関係」

7 - 6 - 3

として、いくつかモジュールが表示されるが、その場合は、「依存関係を解消す るためにパッケージをインストールする」を選択し「了解」する。

以下は X Window System の設定に必要な項目だが、本システムでは X Window System を使用しないため本来、設定の必要はない。しかし、VineLinux1.1CR のインストーラの都合上、設定を問い合わせてくる場合があるのでその場合は、以下の値を設定するようにする。

ビデオカードの選択

ATI Mach64 3D Rage IIC

モニタセットアップ

ここで「戻る」ボタンを押すと、以後の X Window System の設定をスキップできる。 カスタムモニタセットアップ(問い合わせが出た場合)

水平周波数範囲: 標準 VGA

垂直周波数範囲: 50-70

ネットワークの設定

ブートプロトコルの選択画面で固定 IP アドレスを選択する。

TCP/IP の設定画面で IP アドレス、ネットマスク、デフォルトゲートウェイの IP を自分の環境に合わせて設定する。

サービス

以下のデーモンのみ起動するようにする。

表 6.2.6-3 選択するサービス

デーモン名
canna
crond
inet
kerneld
keytable
network
portmap
random
sendmail
syslog

6.2.7 OS (Vine Linux) 及びネットワークの正常動 作の確認

上記の手順で OS インストール及び設定後、OS の再起動を行い、以下の動作ができた ことをもって正常動作の確認をおこなう。

ルートログイン

コンソールにログインプロンプトが出力され、インストール手順中で設定したパスワードで、ルートユーザでログインできること。

Vine Linux 1.1CR (Rheingau) Kernel 2.0.36 on an i686 login: <u>root</u> Password:\_\_\_\_ Last login: Wed Jan 26 16:08:15 from XX.XX.XX [root@swg72sv /root]#

実行例 6.2.7-1 ルートログイン確認

注意 コンソールにログインした場合、標準では日本語の表示が有効になってい ないため日本語文字が化けて表示される。したがって、以降のような出力に日本 語を含むコマンドをコンソールで実行する場合、以下のコマンドを実行して日本 語表示を有効にしておく必要がある。

[root@swg72sv /root]# <u>kon</u>

実行例 6.2.7-2 日本語表示を有効にする

ネットワークインターフェース 以下のコマンドを使用してネットワークインターフェースが正常に起動されているこ とを確認する。 設定した内容が先のネットワークの設定と合致することを確認する。

ifconfig eth0

[root@swg72sv /root]# <u>ifconfig eth0</u>

eth0 リンク方法:イーサーネット ハードウェアアドレス 00:00:E2:23:37:B2
inet アドレス:XX.XX.XX ブロードキャスト:XX.XX.XX マス
ク:XX.XX.XX
UP BROADCAST RUNNING MULTICAST MTU:1500 Metric:1
RX パケット:27644 エラー:0 損失:0 オーバラン:0 フレーム:0
TX パケット:116 エラー:0 損失:0 オーバラン:0 キャリア:0
衝突(Collisions):0
割り込み:10 ベースアドレス:0x8c00

[root@swg72sv /root]#

実行例6.2.7-3 ネットワークインターフェース確認

6.2.8 SWG72 サーバソフトウェアのインストール及 び設定 以下の操作は全て root 権限でおこなう必要がある。

インストール元ファイルのコピー

以下のファイルを記録媒体(CD-R)の「¥installer」ディレクトリからサーバ上の「/home/work」ディレクトリにコピーする。(このディレクトリがない場合は作成する。)

表 6.2.8-1 コピーするファイル

ファイル名	備考
Makefile	インストールコマンド
apache-1_3_9-swg72.tgz	WWW サーバ
postgres-6_5_3-swg72.tgz	PostgreSQL サーバ
swg72-1_0.tgz	SWG72 アプリケーショ
	ン

6.2.9 インストールコマンドの実行

以下のようにコマンドを実行すると、インストールが行われる。

[root@swg72sv /root]# cd /home/work/ [root@swg72sv work]# make install ユーザを作成します... WWW サーバを展開します... PostgreSQL サーバを展開します... SWG72 サーバを展開します... 自動起動スクリプトを登録します... make[1]: Entering directory `/home/swg72/rc3.d' make[1]: Leaving directory `/home/swg72/rc3.d' 時間起動スクリプトを登録します... SWG72 用 Perl ライブラリを登録します... SWG72 サーバのインストールが完了しました [root@swg72sv work]# 実行例以外のメッセージが出力された場合は、インストールが正常に行われなかった可 能性がある。

但し、以下のように (ignored)と表示されることがあるが動作上問題はないので無視して良い。

make: [clean] Error 8 (ignored)

6.2.10 受発注に伴う技術情報交換システムユーザパス ワードの設定 swg72 ユーザでログインをおこなえるようパスワードを設定する。

[root@swg72sv /root]# passwd swg72

New UNIX password:\_\_\_\_\_

Retype new UNIX password:\_\_\_\_\_

passwd: all authentication tokens updated successfully

[root@swg72sv /root]#

実行例6.2.10-1 swg72 ユーザパスワードの設定

6.2.11 受発注に伴う技術情報交換システムサーバのリ ブート swg72 サーバの再起動をおこなう。 必要なプロセスはサーバ再起動時に自動で起動される。

[root@fugaku /root]# <u>shutdown -r now</u> [root@fugaku /root]# Broadcast message from root (ttyp0) Mon Jan 24 10:44:09 2000...

The system is going down for reboot NOW !!

実行例6.2.11-1 swg72 サーバのリブート

6.2.12 受発注に伴う技術情報交換システムサーバプロ セスの正常起動確認 サーバが正常に起動した後、以下のコマンドで swg72 サーバプロセスの正常起動を確認 する。以下は swg72 ユーザでおこなう。

Vine Linux 1.1CR (Rheingau) Kernel 2.0.36 on an i686 login: <u>swg72</u> Password:\_\_\_\_\_ Last login: Mon Jan 24 10:35:56 from XXXX swg72sv:~> <u>./swg72ps</u> SWG72 データベースは正常に動作しています。 SWG72 サーバ (発注側)は正常に動作しています。 SWG72 サーバ (受注側)は正常に動作しています。 swg72sv:~>

実行例6.2.12-1 swg72 サーバプロセスの正常起動確認

6.2.13 自動起動スクリプトの登録確認

以下の確認を行うことにより、PostgreSQLの vacuumdb コマンドが定時に自動起動されることを確認する。最終行に注目する。(毎日0時0分に vacuumdb コマンド起動している。)

vacuumdb コマンドはインデックスの有効化、テーブル中のデータの削除等を行うコ マンド。

[root@swg72sv swg72]# <u>su postgres</u>

tcsh: tron) 1998-07-07 (i386-intel-linux) options 8b,nls,dl,al,rh,color

tcsh: Trying to start from "/home/postgres"

[postgres@swg72sv ~]\$ crontab -]

# DO NOT EDIT THIS FILE - edit the master and reinstall.

# (swg72.crontab installed on Fri Jan 28 18:31:27 2000)

# (Cron version -- \$Id: crontab.c,v 2.13 1994/01/17 03:20:37 vixie Exp \$)

SHELL=/bin/tcsh

0 0 \* \* \* /home/postgres/bin/vacuumdb swg72

[postgres@swg72sv ~]\$

実行例6.2.13-1 自動起動スクリプトの登録確認

6.2.14 データベースの正常起動確認 サーバが正常に起動した後、以下のコマンドで swg72 データベースの正常起動を確認する。 以下は swg72 ユーザでおこなう。

swg72sv:~> <u>psql</u> Welcome to the POSTGRESQL interactive sql monitor: Please read the file COPYRIGHT for copyright terms of POSTGRESQL [PostgreSQL 6.5.3 on i686-pc-linux-gnu, compiled by gcc 2.7.2.3] type  $\mathbf{Y}$ ? for help on slash commands type ¥q to quit type ¥g or terminate with semicolon to execute query You are currently connected to the database: swg72 swg72=> <u>¥d</u> Database = swg72 +-----+ Type | Owner Relation | gizyutu\_zyouhou swg72 | table | gizyutu\_zyouhou\_pkey | index swg72 swg72 | mitumori\_hattyuu | table | mitumori\_hattyuu\_pkey | swg72 index | | torihikisaki swg72 | table | | torihikisaki\_pkey swg72 | index | tuuti | tuuti\_pkey swg72 | table swg72 | index | user\_kanri | swg72 | table | user\_kanri\_pkey | index swg72 +-----+ swg72=> $\underline{Yq}$ swg72sv:~>

実行例6.2.14-1 swg72 データベースの正常起動確認

6.3 受発注に伴う技術情報交換システム発注者側管理者クライアント

6.3.1 前提条件

受発注に伴う技術情報交換システムサーバの導入、動作確認が済んでいること。

6.3.2 適用機種

本システムは、PC-AT 互換機 (DOS/V) 上で動作する。

6.3.3 適用 OS

本システムは、MS WindowsNT4.0(SP5)上で動作する。

6.3.4 前提プログラム

本システムは、以下に示すプログラムを前提とする。

表 6.3.4-1 前提プログラム一覧

種別	名称
マスタテーブル管理ツール	MS Access97

6.3.5 インストール及び設定手順概要

SWG72発注者側管理者クライアントのインストール及び設定は以下の手順でおこなう。

- 1. OS (MS WindowsNT4.0(SP5))のインストール及びネットワークの設定
- 2. OS (MS WindowsNT4.0(SP5))及びネットワークの正常動作の確認
- 3. MS Access97 のインストール及び設定
- 4. MS Access97 の正常動作の確認
- 5. PostgreSQL ODBC ドライバのインストール
- 6. PostgreSQL ODBC ドライバのインストール確認
- 7. ODBC データソースの設定
- 8. ODBC データソースの設定確認
- 9. MS Access97 から SWG72 データベースへの接続
- 10. MS Access97 から SWG72 データベースへの接続確認
- 1、2、3、4の各手順は Microsoft 指定の方法で行えばよい。

以下に5以降の手順について述べる。

6.3.6 PostgreSQL ODBC ドライバのインストール

WindowsNT4.0 への PostgreSQL ODBC ドライバのインストールは以下の手順でおこなう。

- PostgreSQL ODBC ドライバのダウンロード PostgreSQL ODBCドライバをSWG72サーバからローカルPCへのダウンロ ードする。
- PostgreSQL ODBC ドライバ(英語版)のインストール インストーラ形式ファイルを実行することにより、インストールが実行され る。
- 3. psqlodbc.dll(日本語版)ファイルの更新

先のインストールで導入されたファイルを日本語版で置き換える。

PostgreSQL ODBC ドライバのダウンロード

WWW ブラウザ(MSIE)に以下の URL アドレスを入力する。

<u>http://SWG72 サーバの IP アドレス:88/odbc/</u>

以下のような画面になるので、ここから

- postdrv.exe
- psqlodbc.dll

をダウンロードする。(ダウンロード先は任意)

🚈 Index of /odbc - Microsoft Internet Explore	er				_ 🗆 ×
」ファイル(E) 編集(E) 表示(V) お気に、	入り( <u>A</u> ) ツール(① へル	ノブ (王)			
←・⇒・◙ 🐴 🔞 🖻 🧭	🛯 🖓 • 🎒 🖾 • .		リンク 🧯	Index of -logs	**
] アドレス(D) 🙋 http://tenzan.kawa.ssl.fujitsu	ı.co.jp:88/odbc/			<b>•</b>	∂移動
Index of /odbc					*
	<u>Last modified</u>	<u>Size</u>	<u>Descriptio</u>	<u>n</u>	
E [DIR]	13-Jan-2000 15:35	-			
postdrv.exe	09-Nov-1999 14:31	1.1M			
postgresql odbc driv>	11-Jan-2000 11:20	34k			
psqlodbc.dll	16-Dec-1999 14:58	192k			
	wa.ssl.fujitsu.co.jp P	ort 88			
é				- 📴 ローカル -	(ントラ: //

図 6.3.6-1 ODBC ドライバのダウンロード

PostgreSQL ODBC ドライバ(英語版)のインストール 先ほどダウンロードした postdrv.exe を実行する。(ダブルクリックする) すると以下のような画面がでる。



ここで「はい(Y)」を選択する。

Welcome to the PostgreSQ	L Odbc Driver Installation 🛛 🔀
	Welcome to the PostgreSQL ODBC Driver Setup program. This program will install PostgreSQL ODBC Driver on your computer. It is strongly recommended that you exit all Windows programs before running this Setup program. Click Cancel to quit Setup and then close any programs you have running. Click Next to continue with the Setup program.
WARNING: This program is protected by copyright law international treaties. Unauthorized reproduction or distribution of this program portion of it, may result in severe civil and criminal penal will be prosecuted to the maximum extent possible under	
	< <u>B</u> ack <u>Next&gt;</u> Cancel

図 6.3.6-3 ODBC ドライバ(英語版)のインストール(2)

ここで「Next>」を選択する。



図 6.3.6-4 ODBC ドライバ(英語版)のインストール(3)

ここで「Do not install Driver Manager」が選択されているのを確認し、「Finish」を 選択する。



図 6.3.6-5 ODBC ドライバ(英語版)のインストール(4)

ここで、「OK」を選択しドライバの正常インストールを確認する。

psqlodbc.dll(日本語版)ファイルの更新

先の手順でインストールされたファイルの一つを日本語版と差し替える。

置換対象ファイル(%windir%¥system32¥psqlodbc.dll)を、最初の手順でダウンロードしたファイルに置き換える。

%windir% = WindowsNT がインストールされているシステムディレクトリ。(通常は C:¥WINNT)

ファイルのコ	上書きの確認	×
	このフォルダには既に 'psqlodbc.dll' ファイルが存在します。	
	現在のファイル	
	サイズ: 165KB 更新日時: 1999年 9月 2日 木曜日、午後 10:09:24	
	に次の新しいファイルを上書きしますか?	
	サイズ: 192KB 更新日時: 1999年 12月 16日 木曜日、午後 02:58:00	
	<u>เมาร์</u> แนวร์ <u>เ</u> ม	

図 6.3.6-6 psqlodbc.dll(日本語版)ファイルの更新

その際、以下のような確認メッセージが出るが、「はい(Y)」を選択する。

以上で PostgreSQL ODBC ドライバのインストールが終了する。

6 . 3 . 7 PostgreSQL ODBC ドライバのインストール確 認

以下の手順で PostgreSQL ODBC ドライバがインストールされているかを確認する。 「コントロールパネル」-> 「ODBC データソース」-> 「ドライバ」タブを開く。 「PostgreSQL」のバージョン番号、会社名の表示が下記のようになっていることを確 認する。

<びODBC データ ソース アドミニストレータ	? ×
_ ユーザー DSN   システム DSN   ファイル DSN   ドライバ   トレース   接続ブー	ール バージョン情報
このコンピュータにインストールされている ODBC ドライバ(Q):	
名前 パージョン 会社名 Microsoft d 6.00.8428 Microsoft Corporation Microsoft Ex 4.00.3711 Microsoft Corporation Microsoft Fo 4.00.3711 Microsoft Corporation Microsoft Fo 6.00.8428 Microsoft Corporation Microsoft O 2.573.3711 Microsoft Corporation Microsoft Pa 4.00.3711 Microsoft Corporation Microsoft Pa 4.00.3711 Microsoft Corporation Microsoft Te 4.00.3711 Microsoft Corporation Microsoft Te 4.00.3711 Microsoft Corporation Microsoft Vi 6.00.8428 Microsoft Corporation Microsoft Vi 6.00.8428 Microsoft Corporation Microsoft Vi 6.00.8428 Microsoft Corporation Microsoft Vi 6.00.8428 Microsoft Corporation	ファイル▲ VFPODE ODBCJ ODBCJ VFPODE MSORC ODBCJ ODBCJ VFPODE by InterWIZ PSQLOE
SQL Server 3.70.06.23 Microsoft Corporation	SQLSR\ で ODBC データソー ンストールするには、ド 用価 ヘルプ

図 6.3.7-1 ODBC ドライバのインストール確認

6.3.8 ODBC データソースの設定

「コントロールパネル」を開き、「ODBC データソース」を選択(ダブルクリック)する。



図 6.3.8-1 コントロールパネル

「ODBC データソースアドミニストレータ」ダイアログが開くので、「システム DSN」 タブを選択する。( ODBC ドライバマネージャのバージョンによってはマシン DSN と表示される場合がある。)

💞 ODBC データ ソース	マアドミニストレータ	? ×
ユーザー DSN システ	ム DSN 】ファイル DSN 】ドライバ 】 トレース 】 接続プール 】 バ	ージョン情報
システム データン 名前 CF <u>3.0 Examples</u> Coffee Valley fugaku LocalServer MQIS PostgreSQL tenzan	ース( <u>S</u> ): <u>ドライバ</u> Microsoft Access Driver (*.mdb) Microsoft Access Driver (*.mdb) PostgreSQL SQL Server SQL Server PostgreSQL PostgreSQL	<u>追加(D)</u> 削除( <u>R)</u> 構成( <u>C</u> )
ODBC ジ 関する情 のコンピ	/ステム データ ソースには指定されたデータ プロバイダへ 挿版が格納されています。システム データソースは、NT サ ュータ上のすべてのユーザーが認識することができます。 OK キャンセル 適用( <u>A)</u>	の接続方法に ービスを含むに

図 6.3.8-2 ODBC データソースアドミニストレータ

「追加(D)…」ボタンを押すと、「データソースの新規作成」ダイアログが出る。

データソースの新規作成	2ットアップするデータ ソースのドライ/ 名前 Microsoft Excel Driver (*.xls) Microsoft FoxPro Driver (*.dbf) Microsoft FoxPro VFP Driver (*.dbf) Microsoft ODBC for Oracle Microsoft Paradox Driver (*.db ) Microsoft Text Driver (*.txt; *.csv) Microsoft Visual FoxPro Driver PostereSQL SQL Server	ぶを選択してくだ 4.00.3711.08 4.00.3711.08 6.00.8428.00 2.573.3711.00 4.00.3711.08 4.00.3711.08 6.00.8428.00 6.40.00.07 3.70.06.23	★ さい(S) 会社名 ▲ Micros( Micros( Micros( Micros( Micros( Insight Micros( F
	〈戻る(日) 完	7(E)	キャンセル

### 図 6.3.8-3 データソースの新規作成

19 IUStgitsgit	
PostgreSQL Driver Setup	×
Data Carra Errad	Description
Data Source: [swg72]	Description:
Data <u>b</u> ase: swg72	
Server: 10.36.233.151	Port 5432
User Name: swg72	Pass <u>w</u> ord:
	Options (Advanced):
OK Cancel	Driver DataSource

リストの中から「PostgreSQL」を選択し「完了(F)」を押す。

☑ 6 . 3 . 8 - 4 PostgreSQL Driver Setup

「PostgreSQL Driver Setup」ダイアログが出るので下記の情報を入力する。

Data Source: <u>swg72</u> Database: <u>swg72</u> Server: <u>SWG72 サーバの IP アドレス</u> User Name: <u>swg72</u> 次に「Driver」ボタンを押す。次のようなダイアログが出るので「ReadOnly」のチエックを外してから、「OK」ボタンを押す。

Advanced Options (Driver)
✓ Disable Genetic Optimizer CommLog (C:\psqlodbc.log)
🗹 KSQO (Keyset Query Optimization) 🗖 ReadOnly (Default)
🗖 Recognize Unique Indexes 👘 Parse Statements
Use Declare/Fetch     Cancel as FreeStmt (Exp)
Unknown Sizes Maximum O Don't Know O Longest
Data Type Options Text as LongVarChar Unknowns as LongVarChar Bools as Char Cache Size: 100 Max Varchar: 254 Max LongVarChar: 8190
SysTable Prefixes: dd_;
Connect <u>S</u> ettings:
OK Cancel Defaults

図 6.3.8-5 PostgreSQL Driver Setup(Driver)

「PostgreSQL Driver Setup」に戻るので、次に「DataSource」ボタンを押す。次のよ うなダイアログが出るので同様に「ReadOnly」のチエックを外してから、「OK」ボタ ンを押す。

Advanced Options (tenzan)		×
E BeadOnly	Row <u>V</u> ersioning	
Protocol • 6.4 • 6.3	O 6.2	
OID Options	🗖 Fake Index	
Connect Settings:		
ОК	Cancel	]

☑ 6.3.8-6 PostgreSQL Driver Setup(DataSource)

「PostgreSQL Driver Setup」に戻るので、「OK」ボタンを押す。

♥ ODBC データソーフ	ス アドミニストレータ	<b>? ×</b>
ユーザー DSN システ	・ム DSN 】ファイル DSN 】ドライバ 】 トレース 】 接続プール	ル   バージョン情報
システム データソ 名前 CF 3.0 Examples Coffee Valley fugaku LocalServer MQIS PostgreSQL swer2 tenzan	ース( <u>S</u> ): <u>ドライバ</u> Microsoft Access Driver (*.mdb) Microsoft Access Driver (*.mdb) PostgreSQL SQL Server SQL Server PostgreSQL PostgreSQL PostgreSQL	<u>追加(D)</u> 削除(R) 構成(C)
ODBC 3	/ステム データ ソースには指定されたデータ プロバイ	ダへの接続方法に
関する情	輻が格納されています。システム データソースは、№	↓「サービスを含むこ
のコンビ	ュータ上のすべてのユーザーが認識することができま	」す。
	OK キャンセル 適用	( <u>A)</u>

図 6.3.8-7 ODBC データソースアドミニストレータ(終了)

「システム DSN」ダイアログに swg72 データソースが追加される。 「OK」ボタンを押し、ダイアログを閉じる。 6.3.9 ODBC データソースの設定確認

以下の手順で ODBC データソースが設定されているかを確認する。

「コントロールパネル」-> 「ODBC データソース」-> 「システム DSN」タブを開く。 「swg72」を選択し「構成(C)…」ボタンを押し、設定した内容をこの前のステップで 設定したものになっていることを確認する。

6.3.10 MS Access97 から SWG72 データベースへの接続

以下の手順で、MS Access97 から直接 SWG72 データベース上のマスタテーブルの変更 をおこなうことができる。

変更の対象となるマスタテーブルは、以下の通り。

- ユーザ管理テーブル
- 取引先テーブル

М	icrosoft Access	? ×
1	新しいデータベースの作成	332.
	<ul> <li>         ・</li></ul>	
	<ul> <li>ም-ቃላጐス ウィザート*(<u>D</u>)</li> </ul>	
	● 既存のデータベースを開く(@)	
	<del>その他のファイル</del> C:¥WINNT¥Profiles¥ADMINI <sup>®</sup> 1¥テ <sup>®</sup> スクトッフ <sup>®</sup> ¥tenzan C:¥WINNT¥Profiles¥ADMINI <sup>®</sup> 1¥テ <sup>®</sup> スクトップ <sup>®</sup> ¥db1 C:¥WINNT¥Profiles¥Administrator¥テ <sup>®</sup> スクトップ <sup>®</sup> ¥db1	
	OK ++v\tu	

図 6.3.10-1 MS Access 97 を起動

MS Access97 を起動し、最初に表示されるダイアログで「空のデータベース」を選択し 「OK」ボタンを押す。

データベースの新規作	作成	? ×
保存先型: 🦲	Personal 💽 🗈 \min 🃰 🗾	<u>作F成(©)</u> <u>キャンセル</u> ☑ 排他(\/)
ファイル名(N): ファイルの種類( <u>T</u> ):	db1.mdb Microsoft Access データベース (*.mdb)	

図 6.3.10-2 データベースの新規作成

「データベースの新規作成」ダイアログで、任意のファイル名を入れ「作成 ( C )」ボタンを押す。

≪ Micros    ファイル(E	oft Access 〕編集(E) 表	示\Ø 挿入Φ	ツール(T) ዕለንቶ	ኃ∰) ∿⊮ጋ°( <u>⊢</u>	þ		
	<b>.</b> 6 6	. <b>₩</b>	<b>€</b>	K • 🗊 •	<u>D</u> <u>b</u>	🗰 🍇 🖻 🕏	• 2 >>
	db1:ምትቃላት-	z					×
	Ⅲ テーブル	📰 ウエリー	🖽 フォーム	🔳 U#°H	- 🛛 🗖 אליד	1 🗳 Eジュール	
						開(の)	
						<u></u> 新規作成(N)	
						_	
, コマントをン	入力してください	۱.					

## 図 6.3.10-3 空のデータベース

空のデータベースが作成される。

」ファイル(E) 編集(E) 表示(V) 挿入(D)、 ┃ 計新規作成(N)… ■ C書 問((0)	ツール(① 、 Ctrl+N Ctrl+O		>: •
外部データの取り込み(Q) 閉じる(C)		▶ ▲ インポートℚ ★■ テーブルのリンクℚ	
<ul> <li>上書き保存(S)</li> <li>名前を付けて保存(A)…</li> <li>エクスポート(E)…</li> </ul>	Ctrl+S		
ページ設定(U) 国、印刷ブレビュー(V) ④ 印刷(P)	Ctrl+P		
送信( <u>0)</u> データベース プロパティΦ			
<u>1</u> db14 <u>2</u> F:¥Usr¥nakamura¥Profiles¥Desktop <sup>3</sup> <u>3</u> db13 <u>4</u> F:¥Usr¥nakamura¥Profiles¥Desktop <sup>3</sup>	¥72¥tenzan ¥72¥db7		
	- T - TI		1 /

図 6.3.10-4 外部データの取り込み

「ファイル(F)」メニューから、「外部データの取り込み(G)」->「テーブルのリンク(L)」を選択する。

ሃንሳ	? ×
検索先型: 🧰 Personal 🔽 🗈 🔕 💌 🗟 📰 🎟 💷 🌌	
My Pictures	リンク
€]db1.mdb	キャンセル
	詳細設定( <u>A)</u>
」 次の条件でファイルを検索します:	
ファイル名(N): 〒 テキスト/プロパティ⊗: ・	検索開始( <u>F</u> )
ファイルの種類(T): Microsoft Access (*.mdb;*.mdw;*.r マ 更新日時(M): 指定なし マ	条件のリセット(W)
Microsoft Excel (*xls) 既定ではセットアップMicrosoft FoxPro (*.dbf)	
、「データアクセス] 1 HTML ドキュメント (*.html;*.htm) Pack では、ファイルの種類をさらに追加できます。   Paradox (*.db)	>
1 個のファイルが見テキスト ファイル (*.txt*.csv;*.tab) ODBC データベース 0	

# 図 6.3.10-5 ファイルの種類

「リンク」ダイアログの「ファイルの種類(T)」リストボックスから「ODBC データソ ース」を選択する。

データソースの選択			? ×
ファイル データ ソース コンピュー?	タデータソース		
	14.85	= 200	
ー テータリース名 dBASE Files	<u></u> 理親 ユーザー	言兄P月	<b>_</b>
dBase Files - Word	ユーザー		
FoxPro Files - Word	ユーザー		
MS Access Database	ユーザーシュテム		16
tenzan	ユーザー		
Visual FoxPro Database	ユーザー		
			新規作成( <u>N</u> )
コンピュータデータソース	またのコンピュータに	のみ適用され、共有でき	ません。ユーザ
タンースはこのコンピュータ	ビューダの一八のユ 2のユーザーとネット!	ワークで接続されている。	ユーザーが使用
できます。			
		DK キャンセル	

図 6.3.10-6 コンピュータ データソース

「データソースの選択」ダイアログで「コンピュータ データソース」タブで先に作成した データソースを選択し、「OK」ボタンを押す。

テープルのリンク	? ×
	jin ji ku
gizyutu_zyouhou mitumori_hattyuu torihikisaki tuuti	ОК キャンセル
user_kanri	すべて選択( <u>A</u> ) すべて選択しない( <u>E</u> )
	□ パスワードの保存\少

図 6.3.10-7 テーブルのリンク

次に、「テーブルのリンク」ダイアログで

- user\_kanri (ユーザ管理テーブル)
- torihikisaki (取引先テーブル) を選択する。

固有レート識別子の選択	? ×
'torihikisaki' テーフ <sup>*</sup> ルのフィールト <sup>*</sup> ( <u>F</u> ):	ОК
torihikisaki code torihikisaki_mei bikou saisyuu_henkou_nitizi	キャンセル
 データの整合性を確保し、レコードを更新するために、レコードを- フィールドを選択する必要があります。10 フィールドまで選択でき	ー意に識別する きます。

図 6.3.10-8 固有レコード識別子の選択(1)

「固有レコード識別子の選択」ダイアログで、「取引先テーブル」のキー項目である 「torihikisaki\_code」を選択し「OK」ボタンを押す。

固有レコード識別子の選択	? ×
'user_kanri' テ〜ブルのフィールド( <u>E</u> ):	ОК
user id password torihikisaki_code namae_busyo access_level saisyuu_henkou_nitizi	<u>++&gt;</u> 21
データの整合性を確保し、レコートを更新するために、レコードを フィールトを選択する必要があります。10 フィールトまで選択でき	→意に識別する きます。

図 6.3.10-9 固有レコード識別子の選択(2)

次の「固有レコード識別子の選択」ダイアログで、「ユーザ管理テーブル」のキー項目 である「user\_id」を選択し「OK」ボタンを押す。

Kicrosoft Access		_ 🗆 ×
││ ファイル(E) 編集(E) 表示(V) 挿入(Φ) ツール(T) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)		
📗 🗅 😅 🔜 🎒 🖪 🖤 👗 🖻 🖻 🚿 🔛 🧱 • 🛤 • 🖦 🐎 🏢 🏢	🖄 🗳 ⁄a	• 😰 👋
		_
i db1:データベース		×
🎟 テープル 👘 クエリー 💷 フォーム 🕋 レホート 🖉 マクロ	🐗 Eジュール	
	開((0)	
♦ ● user_kanri	デザイン( <u>D</u> )	
	新規作成( <u>N</u> )	
	1	
コマンドを入力してください。		

図 6.3.10-10 SWG72 データベースへの接続が完了

以上で、MS Access97 から SWG72 データベースへの接続が完了する。

6.3.11 MS Access97 から SWG72 データベースへの接 続確認

前のステップで作成した Access ファイルをオープンし、「テーブル」タブから 「user\_kanri」 (ユーザ管理テーブル)、「torihikisaki」 (取引先テーブル)の各々を選択 し、「開く(O)」ボタンを押し、各テーブルが参照、編集可能であることを確認する。

🔍 Microsoft Access 📃 🗖 🗙							
ファイル	,(E) 編集(E) ;	表示── 挿入①	୬−ルŒ ウィントウ(₩) ·	∿ルフ°( <u>H</u> )			
0							
i∰ db1	:デ <sup>*</sup> ータ^*ース						- 🗆 ×
	II テーフ <sup>ŵ</sup> ル	🖶 ウエリー	🖽 7 <del>7</del> -4 📔 🔳	₩ ₩	מלק 🕽 🐇	モジュール	N
•	) torihikisaki					開<(	⊵
•●	user_kanri					<u></u>	7(D)
						新規作	成(N)
🌐 usei	r_kanri:テーフル						- 🗆 🗵
	user_id	password	torihikisaki_code	namae_busyo	access_level	saisyuu_henkol	
d		a	123456789012345		10		
▶ e		a	A123		10		
f f		a	12A9		10		
e		a	5678-1234		10		
C		a	987600		10		and the state of the state of the
a		a	1234		U		-
א-בע	َة: <u>ا</u> ا	2 🕨 🔰	* / 6				529665. //
🏢 toril	hikisaki : デーア)	l.					- U ×
tor	rihikisaki_co	torihikisaki_m	ei bikou	saisyuu henko	DU		
123	34	AAA株式会社	テスト用コード 4	t:	-		line and the second second
987	7600	CCCC重工栃木]	[場 テスト用コード 6	6			
123	3456789012345		テスト用コード -	11			
A1:	A123 E電気 テスト用コード 先						
12/	A9 F商事 テスト用コード 逆			The fillen			
567	5678-1234 G部品工業 テスト用コード 途			_			
1-EV							

図 6.3.11-1 MS Access97 から SWG72 データベースへの接続確認

各テーブルの各行を選択することにより、直接の編集が可能になる。

6.4 受発注に伴う技術情報交換システム発注側クライアントに関する説明

6.4.1 適用機種

本システムは、PC-AT 互換機 (DOS/V) 上で動作する。

6.4.2 適用 OS

本システムは、MS WindowsNT4.0(SP5)上で動作する。

6.4.3 前提プログラム

本システムは、以下に示す機能上に構築されている。

表 6.4.3-1 前提プログラム一覧

種別	名称
Web ブラウザ	MS Internet Explorer 5.X

7 - 6 - 3 3

6.4.4 インストール及び設定手順概要

SWG72 発注側クライアントのインストール及び設定は以下の手順でおこなう。

- 1. OS (MS WindowsNT4.0(SP5))のインストール及びネットワークの設定
- 2. OS (MS WindowsNT4.0(SP5))及びネットワークの正常動作の確認
- 3. MS Internet Explorer 5.X のインストール及び設定
- 4. SWG72 発注側クライアントの正常動作の確認
- 1,2,3の各手順は Microsoft 指定の方法で行えばよい。

以降に4の手順について述べる。

6.4.5 受発注に伴う技術情報交換システム発注側クラ イアントの正常動作の確 認

Internet Explorer を起動し、アドレスに以下を指定する。

<u>http://SWG72 サーバ IP アドレス:88/</u>

すると以下のような発注側クライアントにアクセスするための「ネットワークパスワー ドの入力」ダイアログが出るので、「ユーザ名(U)」と「パスワード(P)」に「ユーザ 管理テーブル」に登録してあるもの(発注側)を入力する。

ネットワーク	パスワードの入力		? ×
<b>?</b> >	ユーザー名とパスワードを入力してください。		
<u></u>	ታイト	10.36.233.152	
	領域	SWG72 発注側ログオン	
	ユーザー名(山)		
	パスワード( <u>P</u> )		
	🔲 このパスワードを保存す	13(S)	
		OK キャンセノ	<u>ا</u>

図 6.4.5-1 「ネットワークパスワードの入力」ダイアログ



すると以下のような、SWG72発注側クライアントの初期画面になる。

図 6.4.5-2 SWG72 発注側クライアントの初期画面

6.5 受発注に伴う技術情報交換システム受注側クライアントに関する説明

6.5.1 適用機種

本システムは、PC-AT 互換機 (DOS/V) 上で動作する。

6.5.2 適用 OS

本システムは、MS WindowsNT4.0(SP5)上で動作する。

6.5.3 前提プログラム

本システムは、以下に示す機能上に構築されている。

表 6.5.3-1 前提プログラム一覧

種別	名称
Web ブラウザ	MS Internet Explorer 5.X

6.5.4 インストール及び設定手順概要

SWG72 発注側クライアントのインストール及び設定は以下の手順でおこなう。

1. OS (MS WindowsNT4.0(SP5))のインストール及びネットワークの設定

- 2. OS (MS WindowsNT4.0(SP5))及びネットワークの正常動作の確認
- 3. MS Internet Explorer 5.X のインストール及び設定

4. SWG72 受注側クライアントの正常動作の確認

1,2,3の各手順は Microsoft 指定の方法で行えばよい。

以降に4の手順について述べる。

6.5.5 受発注に伴う技術情報交換システム受注側クラ イアントの正常動作の確 認

Internet Explorer を起動し、アドレスに以下を指定する。

<u>http://SWG72 サーバ IP アドレス/</u>

すると以下のような受注側クライアントにアクセスするための「ネットワークパスワー ドの入力」ダイアログが出るので、「ユーザ名(U)」と「パスワード(P)」に「ユーザ 管理テーブル」に登録してあるもの(受注側)を入力する。

ネットワーク	バスワードの入力		? ×
<b>@@</b>	ユーザー名とパスワー	ドを入力してください。	
<b>∜</b> ~	ታイト	10.36.233.152	
	領域	SWG72 受注側ログオン	
	ユーザー名心		
	パスワード(P)		
	□ このパスワードを保	存する(S)	
		OK +	ャンセル

図 6.5.5-1 「ネットワークパスワードの入力」ダイアログ

すると以下のような、SWG72受注側クライアントの初期画面になる。



### 図 6.5.5-2 SWG72 受注側クライアントの初期画面